



みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第34号 令和2年12月2日発行

三和地域の人口・世帯数
男 1,541人
女 1,623人
合計 3,164人
世帯数 1,664世帯
(令和2年10月末現在)

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

ラジオは 真鍋歯科医院の真鍋 憲さん

F M 丹波で月々金曜午後4時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月1回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー、第19回が10月29日に放送されました。

今回は、開業から1年を迎えられた真鍋歯科医院から、真鍋憲さんをゲストにお迎えしました。これまでの経歴や現在の状況、そして歯についての話もしていただきました。

歯医者さんに直接お話を聞ける機会はないということ、質問が止まらず、収録後もしばらく質問タイムが続きましたが、ひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。（通信料がかかります）

左下のQRコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。（通信料がかかります）



「三和のみなさん、歯の話をとくさんしたい」とおっしゃってくださった真鍋さん。延期になっていた講演会が開かれた時には、

菟原・細見小学校跡地の活用に向け「廃校マッチングバスツアー」開催

昨年3月に閉校になった旧菟原小学校、旧細見小学校の施設活用を進めるため、10月23日（金）関西では初となる「廃校マッチングバスツアー」が開催されました。

福知山市と、この取り組みに協力する京都銀行が主催したもので、現地参加を含め市内外の事業者など41人が参加しました。

市内にはここ数年の学校統合により、利活用が決まっていない廃校が11校あります。また、旧大江町地域でも来年に学校統合が予定されており、これら施設の今後のあり方については大きな課題となってきました。

このような中、市は学校跡地についてそれぞれの地域と連携しながら、民間事業者への貸付または売却の検討を進めています。また、実際に活用がどのようなかを確認することによって、

参加者はこの日、旧菟原小、旧細見小、旧上六人部小の3校を見学。教室や体育館など

の施設の状態を実際に見て、どのような活用ができるかを検討することによって、

実際に市内から見学に訪れた参加者は、「市外からここまで注目が集まっているとは思わなかった。市民としては自信になる。このように実際にゆつくり中を見ることで、活用事例のビジョンを描きやすかった」と話していました。

「廃校マッチングバスツアー」は、11月20日（金）に第2弾として、旧明正小、旧金谷小、旧天津小を見学するコースも実施されました。三和地域では、すでに旧川合小学校で同様の取り組みが先行して実施



旧菟原小学校の見学



旧細見小学校の見学

されており、これから具体的な活用の検討が進められることになっています。

細見地区ではこれに先立ち、各自治会長や団体代表などにより「細見地区廃校活用推進委員会」が設置され、市との窓口になって地域要望の反映や提案内容の検討を進めていくことにしました。また、菟原地区でも推進組織設立の準備が進められています。三和地域協議会では、これらの取り組みと連携を図りながら、よりよい活用に向けて支援していきたいと考えています。

みわしまわり Ride

利用状況をお知らせします！

累計（平成29年10月～令和2年10月）			
会員登録者数	136人（内訳：男性34人・女性102人）		
利用者数	95人（内訳：男性23人・女性72人）		
運行便数	1,942便	輸送人数	2,224人

図書館からのお知らせ

近年話題のドラマ・映画の原作本を集めました！原作には映像作品とは一味違ったおもしろさがあります。気になる作品の原作を読んでみませんか？

おすすめの原作本

①	罪の声	塩田 武士	2020年 映画化
②	みをつくし料理帖	高田 郁	2020年 映画化
③	朝が来る	辻村 深月	2020年 映画化
④	総理の夫	原田 マハ	2021年 映画公開予定
⑤	ルパンの娘	横関 大	2020年 ドラマ化

※来年1月6日から本を借りていただいた方（先着順）に「新春おめでとう福引き」を開催します！（景品なくなり次第終了）

「炭火食 LABO」が開催されました！



11月8日、三和町友渚の古民家カフェで「三和町Tsumugu架け橋」(Instagram: mitsukake1001)が初めて主催し、地域おこし協力隊協力で「炭火食 LABO」を開催しました。「三和町Tsumugu架け橋」とは、魅力あふれるコンテンツがたくさん詰まった田舎町・三和町の価値を皆さんと紡いでいくことをミッションとする団体です。

おもに新規就農者やこの目的に賛同した方で活動をしています。当日は、コロナウイルス対策のため少人数に限定し事前申込をしていただき、午前は行政や学校等で地域振興担当の方々を中心にお招きし、午後は、友渚地域の方たちに来場していただきました。みなさんには、古民家を改装された店内で、炭火を使った囲炉裏や七輪で万願寺とおにぎりを焼いてもらいながら、試作品の評価をしていただきました。

今回のイベントの目的は①万願寺とぶどうを使用した試作品（7事業者から17種類）の評価情報の収集②昔ながらの風景が残る友渚・古民家カフェの周囲の環境や店内の雰囲気を知ってもらうこと③イベントを通して同じ目的で集まった方や地域の方との交流を促進することです。Tsumugu架け橋では今後も定期的にいろいろなイベントを企画される予定です。



万願寺とぶどうの試作品

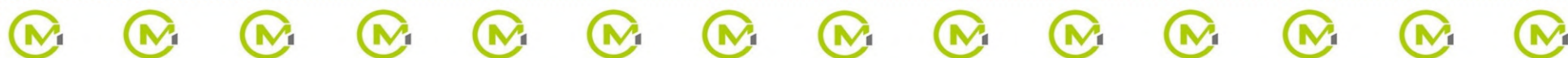
羽ばたけ！地域のイチ押し企業

②コアマシナリー株式会社



福知山公立大学
地域経営学部 教授
亀井 省吾

芦洲小字琴ヶ瀬にて、精密機械部品の製造と金属の表面加工を行うコアマシナリー株式会社さん。インタビューさせて頂いたのは、代表取締役の岡本真樹（おかもと まさき）さん、弱冠38歳の若い社長さんです。本社へおじゃました私たちを、「麒麟がくる」のモチーフで表面加工が施されたアルミ看板のもと、爽やかな笑顔でお迎えいただきました。



アルミ製桔梗紋コースター

Q…具体的にはどんな事業なのでしょう？
A…当社の事業は、主に半導体製造装置など精密機械用の部品の製造と、アルミニウムの表面加工処理です。特に、部品製造における切削加工と表面加工技術の両方を持っていることが強みです。両方の技術を持っていることで、精密機械の部品製造において様々な要望に応えることができます。それが可能なのは、京都府内では2社しかありません。
このように、従来は主にメーカーさん向けの製品を扱ってききましたが、近年、これらの技術を活用して、一般消費者の皆さんへ向けた製品づくりにも励んでいます。

Q…一般消費者の皆さんに向けた製品づくりについて教えてください。
A…従来からの主なお客様である半導体の業界はシリコンサイクルといって、好不調の波が定期的に訪れます。お客様の状況は、部品を納める私たちにも影響し、忙しい時と暇な時の差が大きくなりがちで不安定です。会社のためにも、社員のためにも安定が必要だと考え、一般消費者ユーザー向けの商品を開発したいと考えました。同時に、会社があり、故郷でもあるこの地域に何か貢献したいという思いもありました。当初は、地域の方からの要望で、記念メダルや表札を作っていました。折しも、エグザ大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始のタイミング

Q…新規事業も順調そうですね。組織づくりで工夫していることはありますか？
A…創業から遡ると今年で43年目になります。金属加工業としての歴史としては40年近くありますが、一般消費者の方に手にとって頂けるような商品を開発するようになったのは、社名を現在のコアマシナリー株式会社にした4年前からです。その時に、私が前社長から経営権を取得し、第二創業という形でスタートし現在に至ります。心機一転して、先ず考えたのは社員の家族を大事にする経営です。そのために、それまで当たり前に行われ



岡本社長とソリッドハニカムテーブル

で、明智光秀ゆかりの福知山にちなんだ「アルミ製桔梗紋コースター」を開発しました。現在、福知山山下の「ゆらのガーデン」さんのお土産処にて地元限定で販売しています。アルミ無垢材に切削と表面処理を交互に施して作り、選べる6色の桔梗紋彫刻が特徴です。

Q…京都デザイン賞2020にも出展されたそうですね。
A…はい。先日、京都市立芸術大学で開催された審査会に出展して、京都府知事賞を受賞いたしました。

出展したのは、とんでもなく薄くて軽くて丈夫なテーブル「SOLID HONEYCOMB TABLE（ソリッドハニカムテーブル）」です。このテーブルは世界最薄レベルのアルミ素材のテーブルでモノをのせる天板の部分の一番薄いところが2ミリメートル、片手で持ち上げられます。12月に販売予定です。

Q…最後に、今後の抱負について聞かせてください。
A…ものづくりの楽しさを地域の子供たちに知ってもらいたいと思っています。私たちは平均年齢34歳の若い会社です。そんな若い人たちが技術を学び、ものづくりをしている現場を是非見にきて欲しいと思っています。

そして、仕事は、ものづくりは楽しいんだと子供達にわかってもらうことを通じて、地域の未来に貢献していきたいと思っています。



会社アルミ看板



工場内の作業の様子

**みわふれあいカフェ
お礼とお知らせ**

今年もみわふれあいカフェにお越しくださりありがとうございました。
カフェは、12月から3月までお休みさせていただきます。また来年の4月、みなさまのお越しをスタッフ一同心よりお待ちしております。

**来年4月2日(金)
オープン予定**



インタビューの様子

家族、ひいては地域を思う気持ち、社内共有されて、それが世界を驚かせる商品開発につながっていることを感じたインタビューでした。

企業組織が、これまで慣れ親しんできた既存事業をしながら、新規事業を行うことは非常に難しいものとされていきます。特に、これまでと異なる顧客層に新しい商品を開発するのは、考え方が全く異なります。しかしながら、岡本社長からは、そんな難題に対し社内でも楽しみながら取り組んでいる様子が伝わってきます。

もちろん、商品開発には大変なご苦労があると思います。しかし、社員の家族、ひいては地域を思う気持ち、社内共有されて、それが世界を驚かせる商品開発につながっていることを感じたインタビューでした。

**インタビューを振り返って
☆イチオシの理由☆**